

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月22日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103185
法人名	医療法人 慈恵会
事業所名	グループホーム ザテラス西田橋 (2号館)
所在地	鹿児島県鹿児島市西田一丁目11番1号 (電話) 099-213-0091
自己評価作成日	平成31年2月22日

である

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月6日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームという事で、まず家庭的な環境作り、利用者様との信頼関係を築けるよう努めております。そのために、「ゆっくり、やさしく、おだやかに」という理念を掲げ、スタッフ全員がこれを目標とし一致団結する事で、理想とする介護サービスを提供することが実現できています。医療面では、法人の系列の、訪問看護ステーションと連携を図ることで、入居者様の健康管理を24時間体制でお守りしております。また、母体である土橋病院から、月2回の往診も実施しています。その際、必要な薬の処方や、診察による異常時の早期発見・相談ができる環境が整っています。1日の過ごし方として、必ず昼・夕の体操、脳トレ、レク活動、歌を取り入れ、それを週間づける事で、認知症の進行予防・身体機能の向上を図ることができております。しかしながら、もちろん強制はしておりません。日々の入居者様とのコミュニケーションにより、精神面や体調面に配慮しこれらの活動に取り組んでいます。また繁華街が近く、突発的に、徒歩で催し物や買い物に行く事も可能であり、利用者のニーズに応えやすい環境にあります。例を挙げると、刺身が食べたい・お菓子が買いたい等です。それに加え高齢者が好きな、甲突川の木市も徒歩圏内にあるので魅力の一つといえます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「ゆっくり、やさしく、おだやかに」という理念を掲げ、朝の朝礼時に、必ず唱和することができ、それを実践することができている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内の行事に参加させていただいている。それにより、地域との連携や密着性をより高め、グループホームの存在感もアピールできている。</p>		
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>毎月1回、法人が主催している、認知症カフェに参加し、地域の方々と交流している。その際、ホームや認知症への理解を広めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>規定通り、2ヶ月に1回の運営推進会議を実施している。ホーム内の行事・発生した事故・研修内容を報告している。そこで関係機関の方々の意見を取り入れたり、地域の関係性を深めており、外部の意見を聞ける貴重な場として活用している。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>施設管理、施設運営に関して不明な点は、役所に電話し、問い合わせしている。また、規定通り必ず、病院受診が必要な事故については、報告書を提出している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>グループホームの規定通り、3ヶ月に1回、定期の職員会議で、身体拘束についての研修を行い、それを実践できている。介護の仕事が未経験の職員が多数いるため、今後更なる質の向上に努めていく必要がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については、研修の中で、世間で起きた事例などを基に、行っている。介助者が、精神面を落ちつかせたり、ストレスを溜め込まない事で、虐待を防止する事ができる事も、日頃から伝達している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在は退所されているが、昨年まで、成年後見制度を利用されている方がおり、研修を行った。今後も入居者に必要性が生じた場合には、活用を視野にいれていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所契約時には、納得のいくように、分かりやすい言葉で説明を行っている。また、質問や契約者の疑問点は、しっかりと説明を行えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	法人で、アンケートを実施し、その際に出てきた意見を真摯に受け止め対応できている。また家族の面会時には、こちらからも声かけし、悩み事や相談事を聞き取りしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、職員会議を開催している。その際、業務の事だけでなく、職員に意見や、疑問点などを、聞き取り入れるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	働きやすい環境を整えており、業務の見直しを定期的に行う事で、残業も無い状況である。給与に関しても、僅かながらではあるが毎年昇給がある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内では、年に数回、必ず研修が行われている。また外部の研修にも、全員とまではいかないが、研修に参加されている。今後、更に研修の参加の機会を増やしていきたい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理職は、地域の方との交流や、地域内の他事業所の職員と交流を図れている。しかし、一般職員は、町内の夏祭りでしか交流できていないので、もう少し交流の場を増やしていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始前に、ご家族と必ず面談や見学等を実施している。入居者によって、理解レベルは様々だが、可能な限り、意見を取り入れ実行している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始前に、必ず面談や見学等を実施している。質問、要望、意見を取り入れ、安心してお預けできる環境づくりを行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時、聞き取りし、アセスメントを行い、必要としていることに優先順位を、しっかりと見極め、その人に必要な支援を見極めることが、できている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>グループホームということで、家庭的な雰囲気作りをすることで、入居者に馴染みやすい環境作りを心がけている。それにより、職員と入居者の距離も縮まっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	2ヶ月に1回の広報誌の発行により、あまり様子を見に行けないご家族も、本人の状況を伝達できる環境を作っている。また家族にも行事の声かけを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族のみならず、入居前に交流のあった友人や知人も、面会にこれる状況である。電話も基本的には、本人に取り次いでいる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	可能な限り、座席には配慮している。普段の様子や、認知面をプロとして観察し、隣席同士で、和やかな空気になるよう、場のコーディネートを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	グループホームでの、介護が困難になった場合は、むやみに切り捨てる様な事はせず、次の生活の場の提供の補助を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ひとり1人と、まっすぐ向き合い、会話を行う事で、その人の思いを組みとり、要望や意向を把握できている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去の情報、それに加え本人や家族からも、情報を入手し、可能な限り、本人の馴染みある暮らしを、取り戻せるよう、現状の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の残存機能を、最大限に活かせるよう、よく観察し、快適に1日1日を過ごせるよう、努力している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間で、対象者の普段の困り事や、悩み事がないかをモニタリングできている。また、面会時等を利用し、家族の意見や、要望を取り入れ、計画を作成している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>会議や、朝礼時に普段の気付きなどを話題にだし、情報を共有できている。またそれらを活用し、的確なプランを作成している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎月必ず、行事や外出を実施実施している。都心部にあるという利点を活かし、大型商業施設やイベントにも参加している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の店やサービスを活用し、地域資源を活かしている。これから、もっと地域資源を活かせるよう努力していきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族に同意をいただき、一部の方を除いて、ほとんど大元の土橋病院をかかりつけ医としている。また、それ以外の専門機関医が必要な場合は、必ず家族と連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>医療連携介護加算を算定している。それにより、法人内の訪問看護ステーションと連携をとれる環境になっている。定期的に訪問してもらい、体調の管理を行っており、必要時には、医師の指示の元処置等も行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、入院先の病院とすみやかに連携をとり、適切な情報交換ができています。当施設の規約で、1ヶ月以上の入院は退所となってしまう。なので、早期退院ができるよう、努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所契約時に、今後の在り方については、必ず話している。ここでの、出来るサービスを説明したり、家族・可能であれば本人の意思を汲み取り反映させている。職員間でも日頃から、終末期の研修も取り入れている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故発生時の対応は、研修を行っている。またマニュアルもあり、それに沿って、対応する事ができている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応については、実際の災害を想定し、避難訓練や研修を行っている。また手順も作成している。非常食や、日用品も備蓄がある。運営推進会議でも、災害時の協力をもとめている状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>理念を常日頃から念頭に置き、馴れ馴れしくならないような、声かけに努めている。目上の方だという気持ちを忘れないよう、職員間でも注意できるようにしている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>普段の観察や、コミュニケーション、生活歴を参考に本人の気持ちを察する事ができている。決めつけではなく、選択肢を与え、決定力を損なわせないように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人のペースに合わせて、1日1日を有意義に過ごしていただけるようにしている。1日の決められた流れにするのではなく、可能な限り、希望を聞き実行している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>入浴後の着替え、朝の着替えの際は、こちらで決めつけるのではなく、お好きなものを選び着用していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事前に、好き嫌いを聞き取り、それを必ず反映している。片付けなどは、こちらが促すこともあるが、入居者自ら進んで片付けをしてくださる事も、多々ある。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を参考にすることで、同じような量で盛り付けするのではなく、個々の食欲に応じて、無理のないような提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、かならず口腔ケアを行っている。拒否がある場合は、支援方法を統一することで、混乱を与えないようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	現在、ホーム内の高齢化がすすみ、リハビリパンツや尿パットを使用している方もいる。しかし、安全にも配慮しながら、可能な限り、トイレでの排泄を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食の工夫として、15時に、ヨーグルトを週数回提供している。また、希望者は、地域にある、ヤクルトの配達も活用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴サービスを提供している。夜寝る前に入りたいという要望以外は基本的に応えている。認知面から、拒否が強い方もいるが、毎回入らないわけにもいかないため、本人の意思も尊重しつつ、サービスを提供している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の時間など決めつけをせず、ソファや、居室で、いつでも自由に過ごせるような環境を作っている。その際、昼夜逆転にならないよう、適度に声かけし、覚醒を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は職員管理で服用している。そのため、薬の効能・副作用が記載されている容姿を毎日の記録ファイルに綴じ、すぐに目の付くところに置いており閲覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>趣味・嗜好・本人像を大事にし、家事支援・レク活動を行っている。それにより、できるだけ、これまでの生活に近い場を提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節を感じとれる行事は、必ず計画し実施している。地域の方との外出はまだただが、家族に協力を得て、スーパーに好きなものを買いにいっている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全てこちらで金銭管理を行わず、ご家族や本人の希望で、自分で財布を所持している方もいる。一緒に買い物支援を行う事もあるが、職員が買いに行くこともある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>文字を書く方はなかなか、いないが電話をしたいという要望には応えている。また携帯電話の持ち込みにより、自身で電話のやり取りをしている方もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	完全な間仕切りがあるわけではないが、限られたスペースを活かしリビングと食堂を区別している。室温に関しては、職員主体の温度にならないよう配慮している。また、ホーム内は、職員の趣味や特性を活かして、季節感を感じれる空間作りに、力をいれている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設ける事で、座席に囚われることの内容工夫している。しかし、全員は座りきれないので、居室を活用することもある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族や、本人の意見もとりいれながら、自宅にあった馴染みの物、昔の写真や、家族の写真も掲示している。またここで製作した作品なども、飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体機能や安全面には十分注意し、歩行動線の確保、危険物は目の届かないようなところへ保管している。また必要などころへは、必ず手すりを取り付けている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない